

1. 略歴

1985年3月	東京大学文学部中国哲学専修課程卒業（文学士）
1987年3月	同 大学院人文科学研究科修士課程修了（中国哲学）
1987年4月	東京大学東洋文化研究所助手（東アジア第一部門）
1992年4月	徳島大学総合科学部講師（総合科学科）
1994年4月	同 助教授（人間社会学科）
1996年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授（中国思想文化学）
2007年4月	同 准教授（中国思想文化学）
2013年4月	同 教授（中国思想文化学）
2015年6月	同 教授（次世代人文学開発センター）に配置換

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国思想文化史、王権理論の展開および儒教の教化論、東アジア海域交流史

b 研究課題

- (1) 中国における朱子学・陽明学の思想的形成と社会的展開。
- (2) 中国皇帝制秩序を支える王権儀礼とその理論。
- (3) 日本における儒教思想の流入とその社会的効果。
- (4) 東アジアの伝統思想における尊厳概念。

c 概要と自己評価

概要：中国思想文化史研究として、宋代の儒教において生じた新たな思想潮流と、それが朱子学に集約していく様相を中心に研究してきた。また、その延長線上にいわゆる中世以降の日本における朱子学の受容と独自の展開についても扱い、特に王権論の観点から天皇制に関わる思想的・儀礼的事象を探究している。また、尊厳概念の比較思想的研究を課題とする科研の共同研究プロジェクトに加入して東アジアの伝統思想について考察を進めている。

自己評価：2020～2021年度は上記の4つの研究課題のうち、(3)と(4)についての研究を進めた。特に(4)についてはJSPS科研基盤(S)「尊厳概念のグローバルスタンダードの構築に向けた理論的・概念史的・比較文化論的研究」の研究分担者として共同研究の運営と遂行にあたった。ただし、2020度は副研究科長としての業務におわれて自身の研究が計画どおりには進展しなかった。

d 主要業績

(1) 著書

- 単著、小島毅、『中国思想と宗教の奔流』、講談社学術文庫、2021.1（2005年刊行のもの文庫化）
共著、小島毅（加藤泰史・小倉紀蔵と共編）、『東アジアの尊厳概念』、法政大学出版局、2021.3
単著、小島毅、『義経の東アジア』、文藝春秋、2021.4（2005年刊行のもの増補改訂版）

(2) 論文

- 小島毅、「孔子を神として祭る——曲阜孔子廟の歴史——」、『文化交流研究』、34、33-38頁、2021.3
小島毅、「現代新儒家牟宗三のカント理解」、『東アジアの尊厳概念』所収、179-198頁、2021.3
Kojima Tsuyoshi（小島毅）、「Emperor-Centrism and the Historiography of the Mito School」、『The Tokugawa World, eds. by Rary P. Leupp & De-min Tao（陶徳民）』、888-901頁、2021.9
小島毅、「人材を辨ず——真徳秀『大学衍義』の君主論——」、伊東貴之編『東アジアの王権と秩序——思想・宗教・儀礼を中心として』、汲古書院、481-494頁、2021.10
小島毅、「儒教経学における「嫂」」、『文化交流研究』、35号、77-86頁、2022.3
小島毅、「江原素六について」、『関西大学中国文学会紀要』、43号、89-96頁、2022.3
「栄一、論語を説く——人格と修養の視点から——」、二松学舎大学東アジア学術総合研究所編、『『論語と算盤』の真実——日本近代史の中の渋沢栄一——』、長久出版社、33-54頁、2022.3

(3) 書評

- 福嶋亮大、『ハロー、ユーラシア：21世紀「中華」圏の政治思想』、講談社、『週刊文春』、2021年11月4日号

(4) 解説

「吉川幸次郎『古典について』、『講談社学術文庫』、219-229 頁、2021.4

「儒教と近代」、島藺進他編『近代日本宗教史 1 維新の衝撃』、春秋社、100-103 頁、2020.9

(5) 啓蒙

「蘇州で疫病を治した医者（難者問邪 7）」、『UP』、571、2020.5

「建康で人々を自粛させた高僧（難者問邪 8）」、『UP』、574、pp.49-53、2020.8

「香港で自由を求める若者たち（難者問邪 9）」、『UP』、577、pp.48-53、2020.11

「市ヶ谷で自決した小説家（難者問邪 10）」、『UP』、580、pp.31-36、2021.2

「市ヶ谷で自決した小説家（続）（難者問邪 11）」、『UP』、583、2021.5

「松坂で大人になった国学者（難者問邪 12）」、『UP』、588、2021.8

「平泉でミイラに会った文化勲章受章者（難者問邪 13）」、『UP』、589、pp.47-52、2021.11

「曲阜で仁を説いた聖人（難者問邪 14）」、『UP』、590、2022.2

(6) マスコミ

「『鎌倉殿の13人』の主人公・北条義時、かつて「逆賊」扱いされていたのをご存知ですか?」、『現代ビジネス オンライン』、講談社、2022.1.30

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本中国学会、副理事長、2015.4～2021.3、理事、2021.4～

国内、日本儒教学会、理事（常務委員）、2016.5～2021.3、会長、2021.4～

国内、中国社会文化学会、理事長、2017.7～2019.7、理事、2019.7～